

2021年7月9日

茨城県知事 大井川 和彦 様

日本共産党茨城県委員会

日本共産党茨城県議団

日本共産党茨城県市町村議員団

緊急事態宣言下での東京五輪の中止を政府に求める申し入れ

(第11 次要請)

東京都に4度目の緊急事態宣言が出され、沖縄県の宣言延長と首都圏3県(埼玉、千葉、神奈川)・大阪府へのまん延防止等重点措置が延長されました。そのもとで、政府や組織委員会、東京都は7月23日開会が迫る東京五輪について、1都3県の会場は「無観客」と決定し、大会開催を強行しようとしています。

一方、茨城県は「原則無観客」とされ、このままではカシマサッカースタジアムでの試合に、鹿嶋市やつくばみらい市の小・中学生を動員する学校連携観戦が行われます。

緊急事態宣言下での東京五輪開催は国民、県民の理解は得られません。無観客でも海外から6万8千人の外国人の選手・関係者が来日し、感染拡大の危険が生じることは明らかです。

五輪を開催して、さらなる感染拡大や命が犠牲になるようなことは絶対にあってはなりません。県民の命や安全を最優先に考え、以下の2点を求めます。

記

- 1、政府に対し、東京五輪・パラリンピック開催の中止を求める。
- 2、子どもをコロナ感染と熱中症の危険にさらす学校連携観戦を直ちに中止する。

以上